

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	税等徴収事務事業			事業コード	0150
担当課等	所属名	財政部 納税課	担当係名		
	課長名	財政部 納税課	担当者名	伊藤 健司	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	健全な財政運営の実現	コード 1
	基本事業	賦課の適正化と収納率の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 02款02項02目 税等徴収事務(003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 不明年度～)		
事務事業の概要	市税等の収納管理をする。					
根拠法令等	地方税法、盛岡市税条例、地方自治法、盛岡市財務規則等					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
地方税法(昭和25年法律第226号)に基づいた、財源確保のための主要事務である。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
税負担の公平性及び健全な財政運営を行うために、税収の迅速かつ正確な確保に努めるよう、市民、議会から求められている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
東日本大震災による緊急対応として、納期限の延長、徴収猶予等、復興支援のための環境整備の段階である。具体的納付方法は、現金納付、口座振替、コンビニ収納で、収納確認、消し込み事務は、電算管理である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市税等の収納管理事務	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市税等収納金額	単位	百万円
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市税等の収納確認、消し込み事務と、過誤納金の還付充当を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 市税等過誤納金、還付充当金額	単位	百万円
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	正確で迅速な事務処理を行い、市の歳入状況を明らかにするとともに、納税者の信頼に答える。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 市税等収納金額に対する、過誤納金還付充当金額の割合 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	%
				B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	適正に賦課して自主財源を確保する	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	一般会計市税収納率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市税等収納金額	百万円	46,115	44,208	43,078	43,078	43,516	44,000	27年度 47,000
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	市税等過誤納金、還付充当金額	百万円	190	153	150	61	100	100	27年度 100
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	市税等収納金額に対する、過誤納金還付充当金額の割合	%	0.41	0.34	0.34	0.14	0.22	0.22	27年度 0.21
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	17,510	17,679	89,374	88,951	89,047	89,000	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	9,367	7,278	89,117	88,694	88,808	88,760	*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	8,143	10,401	257	257	239	240	*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	17,510	17,679	89,374	88,951	89,047	89,000	*****
	延べ業務時間数	時間	56,250	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	225,000	224,000	224,000	224,000	224,000	224,000	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	242,510	241,679	313,374	312,951	313,047	313,000	*****


3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:市税等の歳入管理事務であり、適正な管理は歳入確保に不可欠である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:市の財源となる歳入の管理であり、市のみが行うべきものである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:市の歳入が対象であり、妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:正確さと迅速さを向上させるものであり、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:システムの制度を向上させることにより、成果の向上余地がある。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:歳入の適正管理ができなくなる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:国、県、他市町村においても実施している。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由:各自治体の、固有の事務である。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:収納消し込み委託料など、必要最小限の費用で賄っている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:歳入管理事務は、必要最小限の人員であっている。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 正確性と迅速性の、更なる向上を図る必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 各種システムの、精度向上により改善できると思われるので、システム改修に取り組む必要がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ③ 効率性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>公的年金特徴の導入により、還付事務が増加した。また、平成22年度は、固定資産税の還付が増加した。今後は、システム改修や、収納事務の組織見直しを行い、迅速かつ効率的な収納に努める必要がある。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									
												
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>H23年度から組織見直しにより、収納管理班に1名増員し、システム改修については、郵便振替欄を設け一括処理できるよう検討する。なお、事務執行上システムの不具合があれば、その都度改修等検討する。</p>												